

「新規事業」の進捗状況
 （第2期市川市教育振興基本計画）

1. 「校内塾・まなびくらぶ」の充実

（1）事業のねらい

放課後・夏季休業中などに、算数・数学を中心とした基礎的・基本的な内容についての学習の場を設けることにより、児童生徒の基礎的な学力の定着を図る。

（2）進捗状況

全小・中学校、義務教育学校で開設

（小38校、中15校、義務教育学校1校。平成26年8月～）。

平成29年 2月 参加者アンケート実施

○平成28年度事業実績

	H28	H27	増減
① 登録者数 （上記全校における登録者の割合）	4,140人 (13.1%)	5,912人 (18.3%)	-1,772人 (-5.2%)
② 延べ参加総数	54,115人	58,768人	-4,653人 (-7.9%)
③ まなびサポーター（指導者） ※退職教員、教員志望の大学生など	294人	276人	+18人 (+6.5%)

○効果（参加者アンケート結果）

アンケート項目	H28	H27	増減
・「わかった、できるようになった」	82.0%	85.0%	-3%
・「学習することが楽しい」	79.0%	80.0%	-1%

（3）今後の予定

次のとおり予算を各学校に配当し、事業の充実を図る

- ・平成29年度予算（1400万円）の配分に当たっては傾斜配当分を設け、54校中大規模校（19学級以上）28校に10万円を加配

2. 小中一貫教育の推進

(1) 事業のねらい

塩浜小中学校を小中一貫校とするなど、学校間の連携を推進し、子どもの学びと育ちを支える。

(2) 進捗状況

- 平成 25 年 12 月 「塩浜小中一貫校検討委員会」を設置
平成 26 年 5 月 第 1 回塩浜小中一貫校検討委員会（計 9 回開催）
8 月 「塩浜小中一貫校に関する基本計画」策定
12 月 「教育課程特例校」の認可（文部科学省）
平成 27 年 4 月 塩浜学園「開校式」開催
5 月 塩浜学園運営委員会を設置（計 6 回開催）
平成 28 年 4 月 学校教育法改正（平成 27 年 6 月）を受け、塩浜学園を義務教育学校化「市川市立塩浜学園」
5 月 「学校運営協議会」を設置
コミュニティ・スクールに指定
6 月 第 1 回学校運営協議会
7 月 第 2 回学校運営協議会
9 月 第 3 回学校運営協議会
12 月 第 4 回学校運営協議会
平成 29 年 2 月 第 5 回学校運営協議会

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| ○学年区分（4・3・2制） | ○中期からの部分教科担任制の導入 |
| ○「塩浜ふるさと防災科」（市川市教育委員会指定）の深化・充実 | |
| ○9年間見通した授業規律の確立 | ○理数教育の充実 |
| ○福祉教育・道徳教育の充実 | ○異学年交流の充実 など |

(3) 今後の予定

平成 29 年度 学校運営協議会の開催（年間 5 回）

- ※ ・小中一貫教育の検証
・「塩浜ふるさと防災科」のカリキュラム開発
・一体型校舎の整備
・カリキュラム・マネジメントに関する調査研究の推進
（5・6年生：50分授業の試行）

3. 中高連携の推進

(1) 事業のねらい

国の制度によらない、教育課程上の連携を軸とした中高連携の取組（市川版中高一貫教育）を、公立・私立の設置者の立場を超えて推進することにより、子どもの学びと育ちを支える。

(2) 進捗状況

- 平成 27 年 2 月 「市川市中高連携連絡協議会」の設置
5 月 「市川市中高連携推進に関する基本構想」策定
8 月 「学校間連携推進研修会」の開催
(市内私立学校より一貫教育の取組発表)
- 平成 28 年 4 月 「市川市中高連携連絡協議会」の開催
(モデル校の平成 27 年度の取組発表)
10 月 「学校間連携推進研修会」の開催
(小中校連携の取組について)
- 平成 29 年 3 月 「市川市中高連携連絡協議会」の開催
(モデル校の平成 28 年度の取組発表)

【モデル校 前期 H27-29、後期 H30-32】

- ・国府台高校と第一中学校・・・学力向上
- ・市川工業高校と第八中学校・・・キャリア教育
- ・市川南高校と高谷中学校・・・人間力

(3) 今後の予定

- 平成 29 年度 研究部会の設置並びに開催 (5 月、2 月)
中高連携連絡協議会の開催 (6 月、3 月)
学校間連携推進研修会の開催 (8 月)

※ 教育課程上の中高連携の深化を図るとともに、前期研究 (H27～H29) の成果と課題をまとめ、後期研究 (H30～H32) への見通しを持つ。